

# 伊豆沼・内沼 サンクチュアリーセンターニュース Vol.72

平成28年6月号

## 保全活動

### 生き物が多かったころの伊豆沼へ！

今年もバス・バスターズによる駆除活動が始まりました。5月22日に行った第1回目の活動には約22人が参加し、人工産卵床によるオオクチバスの卵の駆除を行いました。沼に設置した150基の人工産卵床を確認し産卵が確認された1ヶ所についてはその場で駆除処理を行いました。引き続き駆除活動を実施して、エビや在来魚を増やし、沼の自然を取り戻していきたいと思えます。



人工産卵床による駆除作業



船にアイカゴを積み込み、出発！



稚魚すくい

## 伊豆沼・内沼自然体験講座のお知らせ



### 水辺の生き物採集と観察会

日時：第1回6月18日(土) 10:00～13:00  
第2回7月10日(日) 10:00～13:00※

※生物多様性について解説コーナーがあります

対象：小学生以上(小学生の人は保護者と一緒どうぞ)  
参加費：600円(昼食代)  
集合：宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリーセンター(鳥館)  
定員：両日とも20名申込先着  
持ち物：長靴、汚れてもいい服、着替え、帽子、飲み物、タオル



タモ網で生きものを捕まえよう

初夏の沼では魚や昆虫が活発に動き回っています。生き物を捕まえて、観察してみよう！



## 東京都あきる野市議会行政視察

5月18日に栗原市の友好姉妹都市であるあきる野市議会（環境建設委員会）の行政視察がありました、伊豆沼の環境対策の取り組みについて、リニューアルされた展示物とスライドを用いて説明しました。巨大な航空写真に、みなさん驚いていました。栗駒山麓ジオパーク事業の説明と合わせ、栗原市を代表する自然とその活用について理解を深めていただきました。

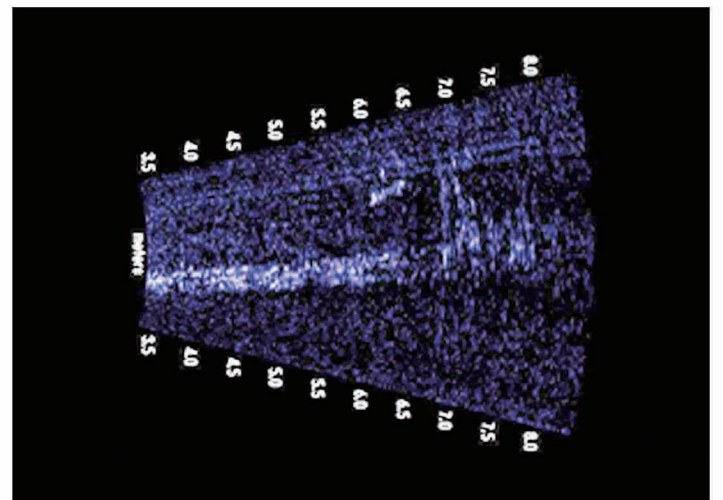


館内見学するあきる野市議会議員

# 調査・研究

## 音波で沼の中を見るプロジェクト

濁っている伊豆沼の水の中。何が起きているのか、知りたくないですか？ 私たちは、東京大学生産技術研究所の浅田昭先生と水野勝紀先生のご協力を頂き、音波で沼の中を見るプロジェクトを進めています。水中音響ビデオカメラと呼ばれるこの装置。音波を出してその反射音から、水の中の地形などを映像化するものです。これまでの調査で、ハスのレンコンやカラスガイなど、さまざまなものを見てきました。最近、私たちが注目しているのは、魚の動き。一日中撮影していると、魚たちのいろいろな動きが見られます。例えばライギョが餌を狙う時、水底から水面上にスーッと近づいてピタッと十数秒間静止するような感じの動きをします。また、数十個体の小鮒の集団が、水底をつきながらカメラの前を通り過ぎて行くこともあります。単色の映像ではありますが、普段見ることのできない、濁水中の世界は、いつも私たちにドキドキさせます。これからも調査を続け、沼の生き物のさまざまな姿を追いかけたいと思います。



水中音響ビデオカメラの映像

## 伊豆沼・内沼生き物図鑑



※ヒルムシロの浮葉(写真○、写真□の上2枚)と沈水葉(写真□の下3枚)

### ヒルムシロ *Potamogeton distinctus*

ヒルムシロは全国のため池や水田に生育する水草です。ヒル(水中の生物で、血を吸う種類もいます！)がいる浅い水辺に生え、筵(ムシロ:草を編んだ敷物)のように平たい葉をつけるため、名付けられました。ヒルムシロは水陸両生の植物です。水位が高い時は、水中対応の薄い葉や(沈水葉と言います)、水面上に浮かぶ葉(浮葉)を出します。これらは乾燥に弱く、池が干上がると枯れます。しかし乾燥時には、乾燥に強い分厚く小さい葉(陸生形)を出し、耐え忍びます！水位の変化に応じて形を変えるため、水田や湿地のような水位の変動する環境にも生育できるのです。

### 〈事務局〉

(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

〒989-5504 宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味17-2

Tel:0228-33-2216 Fax:0228-33-2217

E-mail: izunuma@circus.ocn.ne.jp

ホームページ: <http://izunuma.org>